



150周年記念運動会に向けて

- 16日（土）開催の「創立150周年記念八鹿小学校運動会」に向けて、八鹿っ子たちが生き生きと活動しています。ご家庭でも健康管理に細心の注意をいただくとともに、体操服の洗濯、子どもへの励まし等、日々子どもたちの活動を支援いただいていることに感謝申し上げます。

中学年



低学年
- 運動会練習期間は年間の教育活動の中でも特殊な期間です。全校生が異学年の仲間と同じ目標に向けて、力を合わせて練習に励んでいます。この期間は、子どもたちにとって「できないことがだんだんできるようになっていく」成長と努力の過程でした（それは今も続いています）。特に各学年部で行われているダンス等「表現」の練習では、それがはっきりと感じられます。何もなかったところからのスタートだった「表現」は、まねることから始まり、動きを理解し、習得し、ひとつひとつの動きをつなぎ合わせ、徐々に形となっていきました。コツがわかり、自信がついてくると、動きそのものがダイナミックに、力強くなります。通常の学校生活の中で、子どもたち自身が「できるようになっていく自分」をこれほど感じられる期間は少ないと思います。子どもたちの様子を見てみると、目標に向けて夢中になることや、がんばっている自分を自覚することが、「よろこび」や「しあわせ」と深く関わっていることに改めて気づきます。
- 自分が保護者だった時のことを思い起こせば、運動会は、我が子の成長がいちばん感じられる学校行事だった気がします。毎日家庭で顔を合わせている日常の中では、なかなか成長を見つけにくいのが現実です。しかし、運動会は前年と比較して見るので、その分、子どもの成長がよくわかりました。子どもの歴史を知る親にしか感じられない子どもの成長が、きっとあるのだと思います。今年の運動会も、保護者の皆様にはそんな子どもの成長を一つでもたくさん見つけていただく機会になればと願っています。
- 子どもたちには厳しいことですが、保護者や地域の皆様に見ていただけるのは一回限りです。当日、子どもたちの演技や競技をご覧になる時、「できないことがだんだんできるようになってきた」過程を想起しながら応援していただければありがたいです。一生懸命に練習に取り組んできた自信を胸に、よろこびいっぱいに躍動する子どもたちの姿が、保護者や地域の皆様よろこびへと拡散することを願います。どうぞお楽しみください。

「みんなで踊ろう八鹿音頭」 保護者・地域の皆様もご参加をお願いします

今年の運動会には「創立150周年記念企画」として「みんなで踊ろう八鹿音頭」のプログラムを入れました。子どもたちは2日間に渡って、諏訪町の岡本雅子さん、高岡けい子さん（大森）、井上久子さん（九鹿）のお三方か

ら八鹿音頭を教わりました。八鹿音頭は、ふるさと八鹿のすばらしいものについて歌った歌です。岡本さんは「私は今でも八鹿小学校の校歌が歌えます。校歌と同じように、八鹿音頭もしっかり覚えて、大切に踊りついでほしいです。」とおっしゃいました。このような伝統的な踊りも、子どもたちにとってはとても新鮮なようで、講師さんの踊りをまねながら、一生懸命に練習しています。

ぜひとも保護者・地域の皆様も踊りに参加していただきたく思います。「みんなで踊ろう八鹿音頭」は演技プログラムの最後です。観覧席からフィールドにお入りいただき、子どもたちといっしょに踊りましょう。



美しく上品な踊りを見せていただきました

■ 創立 150 周年を記念して空撮 8 月 28 日

創立 150 周年を記念して、ドローンによる空からの撮影を行いました。運動場にならんだ全校生が黄色い傘を開くと「ようか 150th」の文字が浮かび上がりました。暑い日でしたが、子どもたちは先生の指示をよく聞き、撮影はスムーズに終わりました。真っ青な夏の空のまぶしさ。子どもたちにとって、長く思い出に残る写真になると思います。



黄色い傘を開いて撮影しました

■ 赤米田の観察 【3年生】 8 月 30 日

3 年生は 6 月に田植えで訪れて以来の赤米田訪問です。まず、小佐ふれあい倶楽部で小佐自治協の森本さんから説明を聞きました。赤米のこと、平城宮のこと、木簡のこと。わかりやすく、楽しく話してくださいました。赤米田はこの時期の小佐の風景の中でもひときわ目立ちました。赤いのぎが揺れて、他の田とは違う美しさがあります。子どもたちは自分たちで植えた赤米のことを詳しく知り観察をすることで、よりいっそう赤米とふるさとへの愛着を大きくしました。



ふれあい倶楽部での説明



赤いのぎをさわり、観察しました

■ 但農給食 【6年生】 8 月 30 日

8 月 30 日の給食は「但農給食」でした。但馬農業高等学校から本校の卒業生 2 人を含む 4 人の生徒がやって来て、6 年生に農業生産についての話をしてくれました。興味深く聞いていた 6 年生もたくさんの質問をしました。高校の授業のことや、農薬のことにまで話が及びました。6 年生は高校生といっしょに但農給食を食べました。但農でつくられたナスとピーマン、かぼちゃ、鶏肉がたっぷり入った「但農カレー」。子どもたちにとって最高のメニューです。素晴らしい小学生と高校生の交流ができました。



高校生といっしょに但農カレーを食べました



質問に応える高校生